

中央自動車道（一宮御坂IC～韮崎IC）料金社会実験について

■社会実験の目的

混雑の激しい甲府都市圏の国道20号から、交通量に余裕がある中央道へ交通の転換を図ることで、国道の渋滞緩和、沿線環境の改善等の効果・影響を調査することが目的。

■社会実験の概要

- (1) 開始日：平成19年8月20日（月）～
- (2) 対象時間：平日（月～金）9時～17時
- (3) 対象車種：ETC車 全車種
※双葉スマートICは、普通車・軽自動車・二輪車のみ
- (4) 対象区間：中央自動車道 一宮御坂IC～韮崎IC
（区間距離：28.1km）
- (5) 割引率：対象路線内のICを出入口とし、入口または出口の料金所を9時～17時の間に通過する利用者に対して3割引

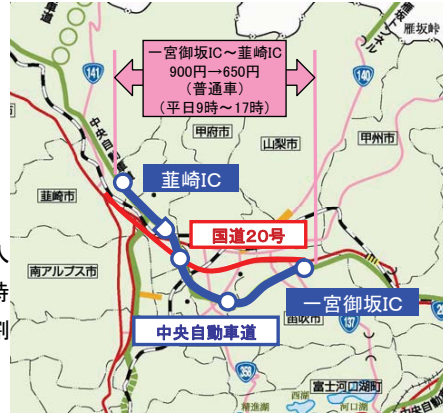


図-1 対象区間図

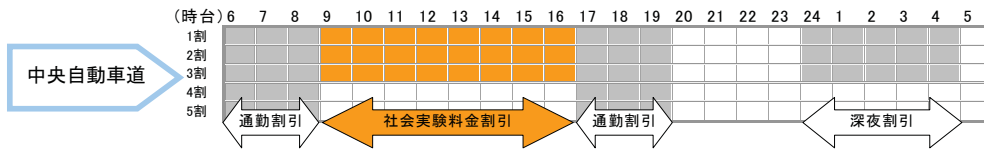


図-2 時間帯別割引率

【平日昼間割引の具体例】

通常料金					平日昼間割引料金（3割引）						
750	600	500	350		550	400	350	250			
900	700	600	400	一宮御坂	650	500	400	300	一宮御坂		
1,050	—	700	450		750	—	500	300			
550	400	300		550	400	300	200		400		
650	500	350	甲府南	800	450	350	250	甲府南	550		
750	—	350		9.3	550	—	250		9.3		
350	250		450	900	250	200		300	650		
450	300	甲府昭和	700	1,350	300	200	甲府昭和	500	950		
500	—		7.6	16.9	350	—		7.6	16.9		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	5.0	12.6	21.9	—	—	5.0	12.6	21.9		
—	—	650	950	1,350	—	—	450	650	950		
—	—	950	1,500	2,150	—	—	650	1,050	1,500		
—	—	—	11.2	18.8	28.1	—	—	—	11.2	18.8	28.1

単位（円）

約3割

単位（km）

■現状整理

- ・ 国道20号は渋滞ポイントも多く、対象区間の所要時間は高速道路の3倍以上（図-3参照）
- ・ 国道20号は昼間に時間容量を大幅に超過しているのに対し、中央道は容量に余裕（図-4参照）
- ・ 国道20号を利用する交通の約6割が甲府市周辺地域の利用者
（※甲府市周辺：笛吹市、甲府市、中央市、昭和町、甲斐市、韮崎市域）

【中央自動車道（4車線、双葉JCT～韮崎IC）】

【国道20号（2車線、甲斐市宇津谷）】

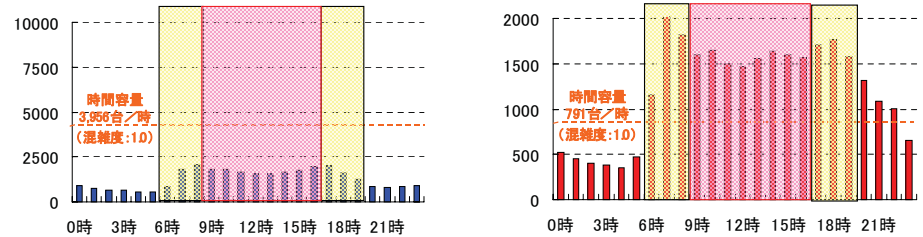


図-4 時間帯別交通量

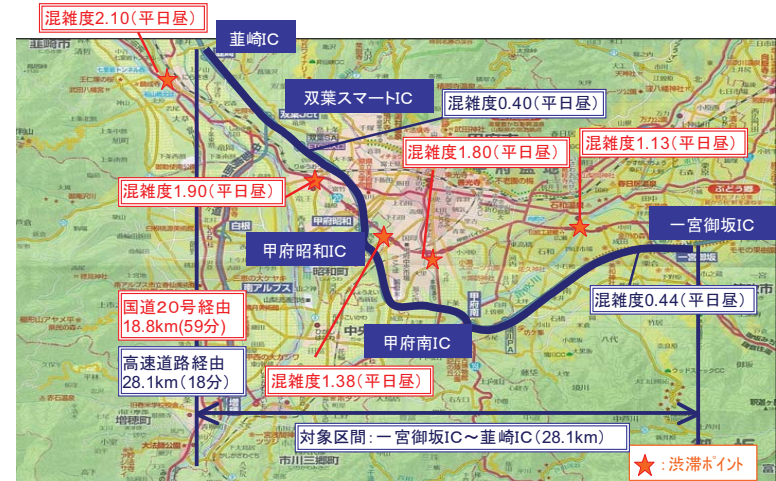


図-3 甲府都市圏渋滞状況

■社会実験の検証内容

- ① 交通流動の変化
 - ・ 国道20号から中央道への転換交通量（交通量調査）
 - ・ 所要時間の短縮（プローブ調査）
 - ・ 渋滞長の減少（渋滞長調査）
- ② 利用者以降の変化
 - ・ 本実験の評価、満足度（アンケート調査）